

家庭粗大ごみ収集システムの限界と、 次世代モデル構築に向けた3つのアプローチ

現状の危機

⚠ **利便性低下**
対面・現金のみ、
月2日限定の収集。

⚠ **コストの圧迫**
委託料が1.2倍に急増、
施設負荷の増大。

⚠ **事務の限界**
アナログ管理による
市職員のパンク状態。

解決へのアプローチ

DX化

24時間オンライン・
キャッシュレス決済

民間連携

市を介さないダイレクト
収集・ルート最適化

サーキュラーエコノミー

リユース導入による
有価物化・広域化

単なる「業務改善」ではなく、市民・市・業者の全ステークホルダーが恩恵を受ける
「循環型エコシステム」への転換を調査・設計する。